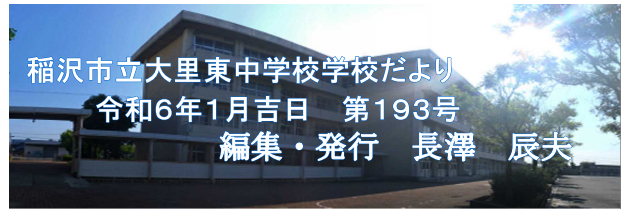


やまもも



早春をイメージする美しい言葉 「春淡し」

今年は暖冬とはいえ、朝夕の寒さは身にしみます。寒い中で、梅の花が一輪、二輪と咲いているのを見かけました。寒い空気の中にちょっぴり混じる春の空気を敏感に感じ取っているのだと思うと感心してしまいます。

そんな早春をイメージする言葉として「春淡し」を見つけました。この言葉は、早春のころに用いる季語です。「淡し」という言葉は、春にしか使わないそうです。「夏淡し」「秋淡し」「冬淡し」とは言わないそうです。逆に「浅し」という言葉は、四季全てに使うようです。このあたりに日本語の繊細さを感じます。

1年生が、あいさつ運動を！！

朝、登校する子どもたちを迎えようといつもものところに行ったら、1年生があいさつ運動をしていました。寒い中でしたが、元気に声を掛けている姿に、「いい光景だなあ」と思って見ていました。

登校する子どもたちも、戸惑う子、元気にあいさつをする子、恥ずかしそうにして、そそくさと通り過ぎていく子など、様々でした。中には、声を掛けられて、うれしそうにしながら仲間に加わり、登校する子に声を掛けている子も見られました。学校に活力をもたらすよい取組であったと思っています。



雪が少し積もった朝でした！



校内を歩いていたら！！

子どもたちの様子を見ようと校内を歩いていたら、体育館から元気な声が響いてきました。2年生が楽しそうに活動している姿、大きな声で駆け回る姿を見ていて、こちらにも元気をもらいました。寒さの中、縮こまっていた自分を恥ずかしく思っています。3年生が、受験に向けて一生懸命になっている今、本校の顔として、しっかりと3年生の後を引き継いでくれると確信をしました。ありがたいがぎりです。

